

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	演劇	種目	演劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	(とくひ)あーといんあしびなー		
	制作団体名	特定非営利活動法人アートインAsibina		
	代表者職・氏名	理事長 下山豊子		団体ウェブサイトURL
				http://www.asibina.com/
	制作団体所在地	〒 160-0022	最寄駅(バス停)	
		東京都新宿区新宿5-18-20 ルックハイツ新宿803号		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	平成16年 7月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		理事長兼芸術監督 下山(西田)豊子 理事兼プロデューサー 下山久 理事 坂本義美・村松裕子ほか3名	正会員12名:目的に賛同して入会 賛助会員10名:目的に賛同して入会 加入条件なし	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	小西 証輝
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	藤山 泰代
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		info@asibina.com		0364035158

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>平成16(2004)年 特定非営利活動法人として東京都より認可を受ける。</p> <p>【舞台芸術作品の上演】</p> <p>「ねこはしる」平成10(1998)年～※厚生労働省社会補償審議会推薦児童福祉文化財/東京都優秀児童演劇選定優秀賞</p> <p>「紙のおとぎばなし」平成20(2008)年～</p> <p>「音楽劇モチモチの木～箏の二重奏にのせて～」平成31(2019)年～</p> <p>【芸術体験プログラムの提供】</p> <p>文化庁コミュニケーション教育事業への講師派遣 平成22(2010)年～</p> <p>【国際交流事業】</p> <p>「紙のおとぎばなし」ロシア国立ノブゴロドマールイ劇場との共同制作</p> <p>Baby mini theater「おむすび」韓国演出家との共同制作</p> <p>【その他】</p> <p>2012(平成24)年 プロデューサー下山久が芸術選奨文部科学大臣賞を受賞</p> <p>2024(令和6)年度 理事長兼芸術監督の下山(西田)豊子が、公益社団法人日本演劇興行協会『助成金交付事業』の交付者に選定される。</p>	
	学校等における公演実績	<p>NPO法人開設以前より全国公演を行っていた「ねこはしる」は、現在通算1500ステージを超え、巡演中。近年「音楽劇モチモチの木～箏の二重奏にのせて～」 「紙のおとぎばなし」の2作品の学校公演もスタートさせたばかり。</p> <p>(直近)</p> <p>2022(R4)年度 23公演(ねこはしる)</p> <p>2023(R5)年度 13公演(ねこはしる・モチモチの木)</p> <p>2024(R6)年度 6公演(ねこはしる・モチモチの木・紙のおとぎばなし)</p> <p>文化庁「子供のための文化芸術鑑賞・体験最高事業」</p> <p>文化庁「文化芸術による子供育成推進事業(巡回公演事業)」</p> <p>北区文化振興財団「スクールコンサート」</p> <p>東京都「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」</p> <p>東京都「島しょ芸術文化振興事業」の他、</p> <p>単独で依頼された学校での公演(首都圏)で行っている</p>	
	特別支援学校等における公演実績	<p>静岡県立沼津聴覚特別支援学校 (平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」)</p> <p>山梨県立わかば特別支援学校ふじかわ分校 (平成30年度同上事業)</p>	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/2fez4hlDl8k	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	





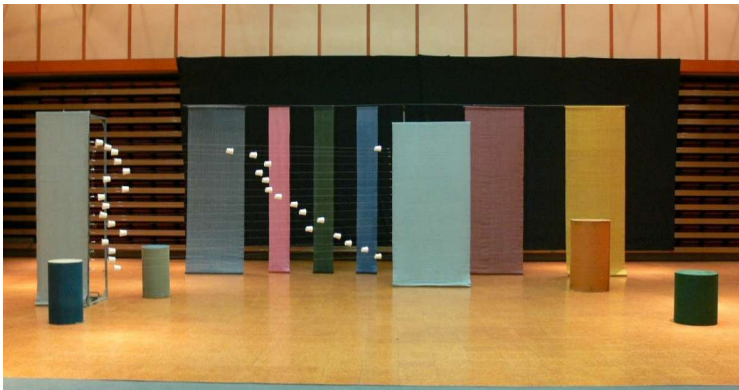

別添

なし

【公演団体名 特定非営利活動法人アートインAsibina 】

本公演・ワークショップの内容

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	ねこはしる			
企画のねらい	観劇を親しみやすく楽しい体験として提供しつつ、子どもたちが現代社会の課題に気づき、考える機会となることを目標とします ①演劇鑑賞を楽しみながら、作品の内容を通じて、「違い」は分断の理由ではなく対話や共感の出発点であるという、共生社会への気づきの糸口となるライブな体験とする ②鑑賞やワークショップを通じて、自然との共生や生命の尊重を深く問いかけ、命の尊さや他者との関係性をみんなで感じ考える体験とする ③共演シーン創作では対話を重視し、自分と他者との共感や違いを伝え合いながら協働創作を楽しむ			
演目概要・演目選択理由	のろまな子ねこ「ラン」は、池の「魚」と友だちになり成長していきます。しかし満月の夜、兄弟たちとの「魚とり競争」が行なわれることとなり、親友の魚と闘うことに。いのちとは？友情とは？死とは？——誰もがいつかは出会う問いに、観客自身が楽しみながら想像力を駆使し、共に感じ考える作品です。オカリナやギターレの素朴な音色に加え、糸電話の原理を応用した創作楽器「ストリングラフィ」が、風や水、いきものたちの気配を繊細に奏でます。詩的な言葉と身体表現や音楽によって観客の五感に訴える舞台は、子どもたちの豊かな感性に支えられ長く愛され続けています。 子どもたちが「感じること」から世界と関わる力を育む、学びと芸術融合の機会として本演目を選定しました。			
児童・生徒の参加または体験の形態	・ワークショップでは、ねこはしるの舞台になる「野原」をみんなで作ります。グループごとに野原の植物や生き物を自由に想像し、それを声や身体の動き、ストリングラフィの音などを使って表現します。本公演では、そのワークショップで生まれた生き物たちを、参加者全員が俳優と一緒に表現し、「〇〇小(中)学校のはらものがたり」としてプロローグで発表します。(中学生に向けては、身体表現より「言葉」による表現を多用します) ・ワークショップに参加できなかった児童・生徒も、公演の中で「声の参加」として登場する場面があり、みんなで一緒に 作品に関わることができます。 ・公演終了後に創作楽器「ストリングラフィ」を代表者何名かに体験していただくことも可能です。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	舞台上は50人まで	
		鑑賞人数目安	上限300人まで	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	ねこはしる 原作：工藤直子 構成・演出：西田豊子 音楽：佐藤容子 振付：神崎由布子 美術：西山三郎 ストリングラフィ指導・協力：水嶋一江／スタジオ・イヴ			
	公演時間	70	分	
出演者	下川瑠美／土井真波／下村界・秋山勇次（ダブルキャスト予定）			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	◆西田豊子（演出）：劇作・演出家として国内にとどまらず、海外の児童青少年演劇人との国際共同制作にも取り組んできた。また、演劇的な手法により児童・生徒の主体的学びを支援する演劇教育分野の研究家・実践家でもある。1998年女性のための0夫人児童演劇賞（日本児童演劇協会）受賞 ◆下川瑠美（俳優）：国内はもとよりロシア・アメリカ・カザフスタンなど国際共同制作作品にも多数出演。演技のみならず多彩な技術で作品の芸術性を高める事ができる俳優。昨今話題のベイビージアターでの一人芝居も好評巡演中。ストリングラフィ、表現活動などのワークショップ講師としても活躍。			

本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: 3 名		運搬		積載量: 1.85 t			
	スタッフ: 3 名				車 長: 4.99 m			
	合 計: 6 名				台 数: 1 台			
本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間			時間程度
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出	
	7:30	7:30～10:30 + 児童・生徒とのリハーサル 30～45分		13:30～14:40	なし	15:00～16:30	17時00分	
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月		7月		8月		9月	
	5日		12日		11日		17日	
	10月		11月		12月		1月	
	17日		15日		14日		14日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		105日	
公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真)			公演の様子					
					絹糸と紙コップの糸 電話のような楽器、 ストリングラフィー。 オカリナやギターレと ともに、メロディーや 和音、野原のイメージ 音や効果音、リズム を奏でます。			
	※会場条件につ いて最低限必要 な条件がある場 合には、様式 No.4内「会場簡 易図面」を記載し		フロアーに舞台を設置した状態					
			間口10m×奥行6.5m。 体育館の大きさによっては仕切 りを設けフロアーを狭めて設置 することがあります。					
					客席の様子			
				カーペットとベンチを団 体で持参。 学校よりマットやパイプ 椅子をお借りし、観客数 に合わせて高低差のある 見やすい客席を舞台とと もに設置します。				

著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否			該当あり	該当コンテンツ名	原作・楽器使用
	該当事項がある場合	権利者名	工藤直子（松本直子） スタジオ・イヴ		許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 特定非営利活動法人アートインAsibina 】

ワークショップの
ねらい

ワークショップでは、「〇〇小(中)学校 のはらものがたり」と題し、子どもたち自身がオリジナルの“のはら”を創造する表現活動を行います。身近な自然に目を向けることから、生命のつながりや共生について考え、作品への関心と理解を深めることを目指します。創作された“のはら”は共演シーンとして発表され、観客の子どもたちとも学びを共有する機会となります。

グループワークとして正解のない創作活動を行う中で、自分と他者の違いや共感を知り、対話による相互理解を育むことは、コミュニケーション力を養う大切な機会となります。また、自らの発想が仲間とともに形になっていく過程を通じて、創造する喜びや自信を感じてもらえる経験となることを願っています。

児童・生徒の
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

1学年を基本に50名まで

ワークショップ
実施形態及び内容

〇〇小(中)学校『のはらものがたり』を創作しよう！！

1)表現するってどんなこと？(30分～45分)

①活動内容の確認・劇団の紹介、事前に送った手紙(子供たち宛てに、事前に共演へのお願いの手紙をお送りします)のことを尋ね、公演や共演への期待感を高め、あるいは不安感を取り除きながら、活動内容を共有します。

②身体表現へのウォームアップ・講師のファシリテートの元、リズム遊びから体や声を使った表現へ楽しく発展。

2)「のはらの生きもの」を創ろう！(共演に向けての活動 45分～60分)

①「パフォーマンス」と「ストリンググラフィ(楽器創作・演奏)」に分かれて創作活動へ
・パフォーマンスチームは、グループワークで話し合い、のはらの生きものを考えて、オノマトペやムーブメントで表現します。
(中学生は、オノマトペと言葉を使った創作をします)
・ストリンググラフィチームは、ストリンググラフィを製作、「のはらの情景」を音で創作します。

3)まとめ

①「パフォーマンスチーム」「ストリンググラフィチーム」活動発表

②子どもたちからの感想など活動の振り返り、共演に向けての期待を深めて終了

*ストリンググラフィとは作曲家水島氏の考案による、絹糸と紙コップで作る弦楽器

ワークショップ

〇〇小(中)学校『のはらのものがたり』を創作しよう！！



『パフォーマンスチーム』

パフォーマンスチームは、グループワークで話し合い、のはらの生きものを考えて、オノマトペやムーブメントで表現します。

(中学生は、オノマトペと言葉を使った創作をします)

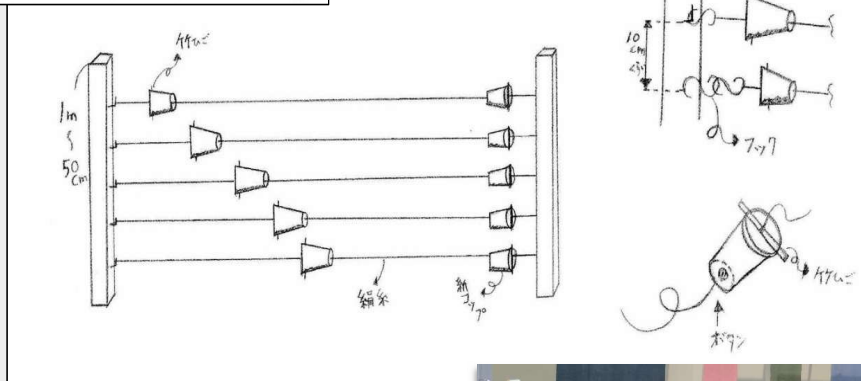
『ストリングラフィチーム』

ストリングラフィチームは、ストリングラフィを製作、「のはらの情景」を音で創作します。

*ストリングラフィとは作曲家水島氏の考案による、絹糸と紙コップで作る弦楽器です。



【これがストリングラフィ！】



その他ワークショップに関する特記事項等

(ワークショップでは、ミニバージョンのストリングラフィを製作します。)

【ストリングラフィ】

ストリングラフィは、作曲家の水島一江さん(スタジオ・イヴ)が考案した糸電話の原理を応用した創作楽器です。絹糸、紙コップ、ボタンといった身近な材料でできています。

バイオリンなどの弦楽器のように松脂を塗って、はじいたり擦ったりして音を出します。



スタジオ・イヴ 公式ホームページ
<http://stringraphy.com/>

ワークショップ会場については、学校の様子をお聞きしながらご相談させていただきます。

- ・基本の活動は、多目的室・音楽室などを使わせていただきます。
参加人数にもよりますが、子どもたちが安心安全に活動ができ、集中できる空間が望ましいです
- ・途中から活動が二つに分かれます。楽器を創るストリングラフィチーム用にもう1部屋が必要です。こちらは、普通教室の広さがあれば十分ですが、大きな音も出ますので、他の教室の学習のご迷惑にならない場所の方がよいかと思います。

他にも学校の備品をお借りすることがありますが、ご相談の上無理のない範囲でご協力ください。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 特定非営利活動法人アートインAsibina 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。						
会場の設置階の制限		条件なし		主幹引き込み電源容量		30 A以上	
舞台設置面積	間口	10 m		奥行	7 m		
	高さ	3 m					
舞台設置場所	フロア対応	可		学校のステージでの対応		不可	
搬入間口の広さ	幅	1 m		高さ	1.7 m		
遮光の要否	遮光要件なし		緞帳の要否			有無のみ確認したい	
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定			条件なし	
			ピアノを使用しない場合の移動の要否			条件なし	
搬入車両(トラック等)の横づけ	横づけ要件なし		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			条件なし	m以内
搬入車両の種類	ハイエース		台数	1 台			
搬入車両の大きさ	車幅	1.69 m		車長	2.28 m		
備考							

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	不要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	不要	

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
	本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	基本45分 * 難しい時には ご相談ください	公演当日 公演が午後であれば昼休憩 時間などを含めても可	共演のリハーサル	共演リハーサルはワークショップを受けた児童・生徒 (基本は学年もしくはクラス単位)です
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		

(任意)	会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。	
	※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。	

「

体育館
舞台

」

「

体育館
フロア

」

舞台袖

体育館の舞台

舞台袖

設置舞台

10 m

7 m

およそ1.5 m

鑑賞位置

カーペットとベンチを団体で持参。
学校よりマットやパイプ椅子をお借りし、観客数に合わせて高低差のある見やすい客席を舞台とともに設置します。

間口

フロア使用時

基本の形です。体育間の広さや人数によって、若干の使用形態の変更があります。

別添

なし

【公演団体名 特定非営利活動法人アートインAsibina 】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

次世代を担う子どもたちにとって、「生きる力」となる想像力や感性は必要不可欠です。芸術はそれを育む大きな力です。芸術に触れ感情が湧きあがり揺さぶられることにより、「知りたい、伝えたい、創り上げたい、分かち合いたい。」という気持ちが、自らの中に生まれ、他者へつながり合う関係へと発展していきます。戦争による分断や対立、異常気象により自然災害に対応する日々が世界を覆う今、大人が子どもたちに日常語ることの難しい普遍的な問いを投げかける本作品は、子どもたちの未来にきっと役立つと信じています。

また、当団体は、「わが国の芸術文化の発展と豊かな市民生活の実現に寄与すること」を目的に、児童青少年演劇の活動を継続的に行っております。これまでに文化庁「コミュニケーション能力向上事業」、学校・こども園・文化施設など多岐にわたり、演劇的手法を使ったワークショップを実践してきました。その経験を活かし事業を実施します。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

公演は、俳優と子どもたちがオノマトペを使って声を掛け合うところから始まります。初めて舞台を観る子どもたちでも、緊張せずに親しみを持って参加できるよう工夫しています。舞台は、客席と同じ高さの“平土間”と呼ばれるフロアで行われ、舞台と客席の距離がとても近く、舞台上の出来事が臨場感たっぷりに伝わります。まるで自分が“のほら”の中にいるような感覚になり、「他人ごと」ではなく「自分ごと」として物語を受け止めることで、子どもたちの感情が揺さぶられ、深く動かされていきます。

ワークショップでは、参加する子どもたちに事前に手紙を送り、興味や期待を高める工夫をしています。先生方には、共演や授業としての展開に役立つ活動案、留意点、タイムスケジュール、よくある質問への回答などをまとめたガイドブックをお渡しし、安心して取り組んでいただけるよう配慮しています。

また、俳優やスタッフ全員が文化庁「コミュニケーション能力向上事業」の講師経験を持っており、演劇的手法を用いた授業における豊富な実績と専門性も当団体の大きな強みです。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

実施校の状況に合わせた細やかな対応をいたします。

①初回はお電話でご連絡を取らせていただきます。その後は、メール・FAXなどご担当の先生のご希望に合わせたご連絡方法といたします。

②事業における実施内容の説明やタイムスケジュール、必要事項、イレギュラーな事態（自然災害や各種感染症流行など）に対する対応法についてなどの必要情報をまとめてお届けし、その後ご相談をするようにいたします。

③公演やワークショップの打合わせを的確に行います。当日のタイムスケジュール、準備、体育館の使用等、学校の状況にできる限り合わせ細やかな対応をしていきます。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

参加する児童・生徒については、必ず事前に学校にご確認ご相談をいたします。

配慮が必要な児童・生徒がいらした場合、無理なく楽しく参加できるように参加の仕方や方法、事前の準備など、ご相談をしながら進めていきます。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

ご希望に合わせて以下のような学びをご提案いたします

- ・子どもたちの観劇体験をより深める、振り返りシートなどのご提案
- ・環境問題、ダイバーシティについてなど、観劇を今後の学習につなげる活動のご提案